

令和4年度事業報告

自 令和 4 年 4 月 1 日
至 令和 5 年 3 月 31 日



社会福祉
法 人

瀬戸内市社会福祉協議会

目次

1.地域に根づいた福祉活動の推進

- 1)福祉委員制度の推進.....1
- 2)地区社協活動及び小地域ケア会議の推進.....1
- 3)こどもひろば開催支援事業.....1
- 4)ささえ愛ネットせとうちの地域サポート事業(備品貸出し).....2
- 5)みんなで支え合うまちづくりフォーラム.....3

2.通いの場等の推進

- 1)ふれあいサロン.....3
- 2)はつらつ教室・OB 会活動.....3
- 3)認知症カフェ『つくしカフェ』.....5
- 4)認知症介護家族の交流会.....5
- 5)ぴあ座談会.....5
- 6)ひなたぼっこ(居場所)の充実.....6
- 7)地域食堂・こども食堂の活動推進.....6

3.ボランティア・市民活動の推進

- 1)ボランティアに関する相談.....6
- 2)ボランティア連絡協議会の支援.....7
- 3)ボランティアセンターだよりの発行.....7
- 4)夏のボランティア体験事業.....7
- 5)福祉協力校活動普及事業.....8
- 6)災害時のボランティア支援.....9

4.福祉まるごと相談体制の推進

- 1)高齢者の相談業務等.....9
- 2)主に高齢期を迎える障害者の相談業務.....11
- 3)権利擁護に関する相談業務等.....11
- 4)生活困窮に関する相談業務等.....13
- 5)ひきこもりに関する相談業務等.....14
- 6)日常生活自立支援事業.....16
- 7)法人後見事業.....16
- 8)生活福祉資金貸付事業.....16
- 9)緊急援護資金貸付事業.....16

5.支え手の育成・ネットワークづくり

- 1)生活支援サポーターの活動支援.....17
- 2)認知症施策等における支え手の育成.....17
- 3)権利擁護における支え手の育成.....19
- 4)ひきこもりの理解促進と支え手の育成.....19
- 5)高齢者支援のネットワークづくり.....20
- 6)権利擁護支援のネットワークづくり.....20
- 7)生活困窮者支援のネットワークづくり.....21
- 8)ひきこもり支援のネットワークづくり.....21

6.新たな福祉課題への取り組み

- 1)ささえ愛ネットせとうち.....22
- 2)内職・軽作業支援の充実.....23
- 3)こども用品無料交換会.....23
- 4)空き家を活用した新たな拠点づくり.....23

7.情報収集・伝達と法人運営・財政基盤の強化

- 1)広報事業.....24
- 2)法人運営及び福祉センター・社協バス管理.....24
- 3)社協会員の加入促進と寄付受付.....24
- 4)共同募金運動の推進.....24

1.地域に根づいた福祉活動の推進

1)福祉委員制度の推進

研修会や活動のてびき、福祉委員だより等のツールを用いて、地域で見守りやアンテナ役としての協力が得られるように依頼するとともに、地区社協を通じて研修費等を助成し、研修機会の充実が図られるように支援した。

■福祉委員数

	牛窓町	邑久町	長船町	合計
令和4年度	67人	210人	143人	420人
令和3年度	68人	209人	143人	420人

① 福祉委員研修会の開催

(開催場所:ゆめトピア長船)

開催日	内 容	参加者数
5月14日(土)	【講演】「ふくしなくしない福祉委員の動き方のススメ」 講師：あそびの工房もくもく屋 田川 雅規 氏 【説明】福祉委員制度の概要・社協会費協力をお願い	133人

② 福祉委員だよりの発行

2ヵ月に1回発行し、福祉委員活動を行う上での役立つ情報を提供した。

2)地区社協活動及び小地域ケア会議の推進

地域の様々な福祉的課題を共有・解決するために、地区社協活動を支援した。

- ① 当該地区の会費実績40%及び共同募金実績の10%を地区社協運営費として配分
- ② 地区社協ごとに担当職員を置き、小地域ケア会議の開催支援等
今城地区、豊原地区、本庄地区、笠加地区、玉津地区、美和地区（6地区/14地区中）
- ③ 地区社会福祉協議会会長会議

開催日	内 容
5月6日(金)	地区社協活動のメニュー、福祉委員研修費の活用方法について 他
12月19日(月)	次年度の社協会費募集推進月間、地区社協設置規程について 他

3)こどもひろば開催支援事業 ※市からの受託事業

安心して子どもを産み、育てることができる地域づくり・人づくりの基盤を作ることを目的に、移動遊び場「プレーカー」に外遊び道具を積載し、市内に出向いて開催を支援した。

■外遊びを通じた「こどもひろば」の年間開催状況

回数	左記の内 地域主体の 回数	参加者 (大人)	参加者 (子ども)	ボランティア	子育て世帯 親子組数
157回	43回	1864名	2848名	393名	1184組

■場所別開催一覧

(単位:回)

開催場所		こども園・保育園	幼稚園	子育て支援センター	放課後児童クラブ	行政管轄区域	小・中・高等学校	企業敷地	福祉施設	自治公民館	コミュニティセンター	スポーツ公園	児童遊園	地域公園	お寺・神社	海辺・山・田んぼ	その他	合計	
移動遊び場「こどもひろば」開催回数	牛窓町	牛窓	0	0	0	1	1	0	2	0	0	1	0	0	0	1	0	6	
		鹿忍	8	0	0	2	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	15	
		長浜	0	0	0	0	13	0	0	20	0	1	0	0	0	0	1	35	
	邑久町	邑久	0	0	6	0	30	0	0	1	0	0	0	10	0	1	0	48	
		福田	1	0	6	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	11	
		今城	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
		豊原	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
		笠加	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
		本庄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	
		玉津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
	裳掛	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	6	
	長船町	美和	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
		国府	1	0	0	0	18	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	21	
		行幸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
	合計		11	5	12	4	68	4	3	23	1	9	0	10	1	5	1	157	
地域主体のみ合計		0	3	0	0	8	3	2	3	1	8	0	10	1	3	1	43		

■場所別参加者一覧

(単位:人)

開催場所		こども園・保育園	幼稚園	子育て支援センター	放課後児童クラブ	行政管轄区域	小・中・高等学校	企業敷地	福祉施設	自治公民館	コミュニティセンター	スポーツ公園	児童遊園	地域公園	お寺・神社	海辺・山・田んぼ	その他	合計
参加者数	参加者	103	72	121	14	807	35	106	186	15	142	0	0	135	18	99	11	1864
	保護者																	
	参加者 子ども	466	111	113	108	941	128	210	301	0	113	0	0	191	24	134	8	2848
	ボランティア	0	19	0	0	183	5	54	18	0	21	0	0	37	7	44	5	393
	職員	25	14	28	10	209	10	46	60	3	26	0	0	40	3	15	3	492
合計		594	216	262	132	2140	178	416	565	18	302	0	0	403	52	292	27	5597

※「職員」とは、市子ども政策課及び本会職員、依頼先の保育士・教員等を含めている。

4) ささえ愛ネットせとうちの地域サポート事業(備品貸出し) **新規**

市内の各社会福祉法人と協力し、各法人が所有している貸出可能な備品を市内の団体へ貸出した(地域ニーズの把握、地域との関係構築が目的)。

■貸出し実績

物品	輪投げ	かき氷機	ライン引き	テント	合計
件数	2	1	1	1	5

5)みんなで支え合うまちづくりフォーラム ※市からの受託事業

市内の助け合い・支え合い活動事例を広く紹介し、互いに支え合えるまちづくりを推進した。

開催日時	3月11日(土)	会 場	瀬戸内市保健福祉センター ゆめトピア長船
内 容	基調講演「みんなが“わたしごと”で取り組むまちづくり」 講師 ノートルダム清心女子大学 人間生活学部 准教授 中井俊雄 氏 実践発表「子どもから大人まで誰もが主役の地域づくり」 邑久地区コミュニティ協議会 藤原泰之 氏 (こどもひろばの取り組み) 邑久高等学校 2年次普通科 セトリー (瀬戸内市オリジナル SDGsカード ゲームについて) ≪同日開催イベント≫ フードドライブ事業 寄付個数:27 件		
参加者数	119 人		

2.通いの場等の推進

1)ふれあいサロン

身近な小地域での住民同士の交流・健康づくり・仲間づくり等を支援した。

地区名		令和4年度実施サロン数	令和3年度実施サロン数
牛窓町	牛窓地区	6	5
	鹿忍地区	7	6
	長浜地区	5	5
邑久町	邑久地区	6	7
	福田地区	3	4
	今城地区	2	2
	豊原地区	4	4
	本庄地区	0	0
	笠加地区	1	1
	玉津地区	0	0
裳掛地区	2	2	
長船町	美和地区	5	6
	国府地区	8	10
	行幸地区	6	6
瀬戸内市全体		1	1
合 計		56	59

※ 子育てサロン:3カ所(福田地区:1カ所、行幸地区:1カ所、瀬戸内市全体:1カ所)

① ふれあいサロン交流会

開催日	主 な 内 容
11月28日(月)	講演・体操・情報交換等

2)はつらつ教室・OB 会活動 ※市からの受託事業(地域包括支援センター)

高齢者の日常生活上の支援体制の充実・強化及び社会参加の促進を一体的に図るために、生活支援コーディネーターを配置し、介護予防の場づくりと支え合いの地域づくりを推進した。

① 体操を中心とした通いの場づくり(はつらつ教室の立ち上げ・OB 会支援)

【3月末までに OB 会へ移行済】

期 間	会 場	参加人数
5月18日(水)～8月10日(水)	邑久コミュニティセンター	10人
5月23日(月)～8月29日(月)	豊安公会堂	10人
11月18日(金)～3月10日(金)	ひなたぼっこ長船	5人

【3月末時点で教室実施中】

期 間	会 場	参加人数
3月13日(月)～6月12日(月)	福永コミュニティハウス	12人

その他、地域に呼びかけて体験会を実施。また、随時、各 OB 会への体力測定・OB 支援を実施。

3月末時点で活動をしている OB 会場数:108カ所中92カ所

また、第2の「瀬戸内はつらつ教室」の立ち上げに向けて、地域の方と話し合いを行った。

月 日	内 容	参加人数
6月24日(金)	美和地区の方と意見交換会 (旧美和図書室で行う教室について)	6人
7月6日(水)	教室代表者と今後の教室に関する話し合い (教室の目的、今後の参加者受け入れ、第2の教室について)	3人
8月10日(水)	教室代表者と今後の教室に関する話し合い (教室の目的、第2の教室について)	3人
11月8日(火)	第2の瀬戸内はつらつ教室の活動リーダーとの話し合い (教室の目的、申込状況、リーダーにお願いしたいこと 等)	4人

※教室代表者とは、瀬戸内総合福祉センターで開催している瀬戸内はつらつ教室の代表者等を指す

② はつらつ教室・はつらつ OB 会交流会

体操やレクリエーションの紹介、他の OB 会と交流をすることで、気分転換を図り、教室継続の励みにしていただくことを目的に開催。

月 日	内 容	参加人数
3月9日(木)	(邑久町)はつらつ OB 会交流会 (10年継続教室への表彰、レクリエーション)	36人
3月16日(木)	(牛窓・長船町)はつらつ OB 会交流会 (10年継続教室への表彰、レクリエーション)	37人

③ 出前講座・啓発活動

月 日	団体名等	内 容	参加人数
4月7日(木)	小向老人会	体操紹介、レクリエーション	14人
4月8日(金)	ゆうこう会 GG 会	体操紹介	18人
4月16日(土)	ふれあいサロン友愛会	講話(口腔ケア)、体操紹介	25人
4月27日(水)	駅前ゆうゆう会	講話(脱水)、レクリエーション	7人
5月24日(火)	浜区ほほえみサロン	講話(フレイル)、体操紹介	9人
5月27日(金)	飯井西谷サロン	講話(脱水)、レクリエーション、体操紹介	14人
6月2日(木)	小向老人会	講話(脱水)、体操紹介	14人
6月29日(水)	シニア GG 大会	体操紹介	120人

7月7日(木)	こやま薬局健康教室	講話(筋肉について)、自宅のできる体操紹介	15人
7月8日(金)	さわやかサロン会	体操紹介	19人
7月21日(木)	西脇サロン	講話(社協について)、棒体操の紹介	22人
7月28日(木)	邑久はればれGG大会	体操紹介	95人
9月9日(金)	関町サロン	講話(認知症)、ゴム体操紹介	10人
9月17日(土)	平山老人会	講話(認知症)、はつらつ教室紹介	10人
10月28日(金)	牛文ふれあいサロン	体操紹介、握力測定、レクリエーション	17人
11月11日(金)	市老連 牛窓支部	認知症サポーター養成講座、体操紹介	107人
12月13日(火)	市老人クラブ連合会	体操紹介	40人
1月19日(木)	小向老人会	体操紹介	16人
2月9日(木)	はればれシニアGG大会	体操紹介	118人
2月15日(水)	市老連 牛窓支部	体操紹介	112人
2月20日(月)	市老連 邑久支部	体操紹介、脳トレ	48人
3月15日(水)	瀬戸内市婦人協議会	講話(高齢者サービス)、フレイル予防体操	25人

3)認知症カフェ『つくしカフェ』 ※市からの受託事業(地域包括支援センター)

認知症当事者の社会参加や認知症予防のための情報提供などを目的に、関係機関・ボランティア(せとうちつくし隊)の協力により開催した。

開催日	内容	人数
4月5日(火)	アハ！体験で認知症予防！	26人
6月7日(火)	紫陽花のカードを作ろう	26人
8月2日(火)	ティンカーベルと歌おう	23人
10月4日(火)	ディスコンで体を動かそう！	23人
12月6日(火)	うたかたんずのクリスマスライブ	20人
2月7日(火)	ヨロヨロ&カサカサを防ごう	27人

4)認知症介護家族の交流会 ※市からの受託事業(地域包括支援センター)

介護家族同士が互いに悩みや対応方法について共有し、介護負担の軽減を図るつながりづくりを支援した。

開催日	内容	人数
5月10日(火)	座談会	8人
7月5日(火)	座談会	8人
9月6日(火)	研修会 介護のストレス！どうしたらいいの？ 講師：岡山ひだまりの里病院 加嶋夏代氏	11人
11月1日(火)	座談会	4人
1月10日(火)	座談会	6人
3月7日(火)	座談会	6人

5)ぴあ座談会 ※市からの受託事業(生活相談支援センター)

他者とのコミュニケーションを苦手としている方の「情報共有」や「将来の目標づくり」「不安やストレスの軽減」を図るための交流機会を設けた。

開催日	内容	参加者数
6月8日(水)	野菜の収穫、カレー作り、一緒にカレーを食べることで交流を深める。	4名

6) ひなたぼっこ(居場所)の充実 **新規** ※市からの受託事業(ひきこもりサポートセンター)

家でもなく学校・職場でもない、気軽に立ち寄れて安心できる居場所をボランティアの協力で運営し、様々な社会資源と連携した軽作業等を通じて、社会との関わりや仲間づくりを支援した。

① ひなたぼっこ(邑久町山田庄 862-1 瀬戸内市総合福祉センター2階)

開催日:毎週火、木曜日13:30~16:30

本人の希望により、軽作業体験を実施。

	新規件数 (実数)	継続件数 (実数)	支援回数 (延数)
4月	0	2	12
5月~3月	0	0	0

※ 5月よりひなたぼっこ長船開設のため、本人の意向を確認の上、ひなたぼっこ長船へ誘導。

② ひなたぼっこ長船(長船町飯井 190-2)

開催日:5月より毎週火、水、木曜日13:30~16:30

火・木曜日は本人の希望により軽作業体験を実施。9月からは、株式会社大町から駄菓子の値札貼りの作業を受注、実施。

水曜日は本人の希望により農業体験を実施。地域の民生委員から畑を借り受けた。

	新規件数 (実数)	継続件数 (実数)	支援回数 (延数)
5月	1	2	23
6月	1	3	33
7月	1	4	31
8月	1	5	51
9月	0	6	44
10月	0	6	39
11月	0	6	37
12月	0	6	36
1月	0	6	39
2月	0	6	49
3月	0	6	54

7) 地域食堂・子ども食堂の活動推進 **新規**

地域食堂への発展を期待して、市ボランティア連絡協議会の協力により、地区社協関係者等に「災害時の炊き出し練習」を見学・体験する機会を設けた。また、子ども食堂勉強会を開催した。

■子ども食堂(居場所)勉強会の開催

	開催日	内 容	参加者数
第1回	1月23日(月)	講義「こどもを取り巻く状況と支援について」 講師：川崎医療福祉大学 講師 直島 克樹	42人
第2回	1月30日(月)	実践発表 ①邑久地区社協ふれあい「子ども食堂」 ②そうじゃ食堂くうねるあそび	36人

3. ボランティア・市民活動の推進

1) ボランティアに関する相談

ボランティアに関心のある方に市内に対して活動やグループについて情報提供を行った。またボランティアの依頼について調整・マッチングを行った。

2) ボランティア連絡協議会の支援

市内ボランティアの活性化を目的に、市ボランティア連絡協議会の定期開催等、ボランティア同士の交流や情報交換の場づくりを中心に事業推進した。

■市ボランティア連絡協議会定例会等実施状況

開催日	主な内容
4月21日(木)	第1回定例会:規約・事業計画・予算等について
6月16日(木)	第2回定例会:炊き出し練習について
8月18日(木)	第3回定例会:炊き出し練習
10月20日(木)	第4回定例会:ボランティア情報交換会について
12月15日(木)	第5回定例会:ボランティア情報交換会(活動発表)
2月16日(木)	第6回定例会:振り返り

※ 瀬戸内市ボランティア連絡協議会定例会…偶数月第3木曜日、13:30~15:00

3) ボランティアセンターだよりの発行

年3回を目安にボランティアに関する取り組みについて記載したセンターだよりを発行した(市内企業・福祉施設等に送付)。

4) 夏のボランティア体験事業

夏休み期間に中学・高校生を中心にコロナ過でも「つながる」ことを大切に、様々な出会いの中から、新しい発見や共に生きる社会について考える機会を提供した。

①夏のボランティア体験

■参加中学校・高等学校・大学等

()内は令和3年度実績

学校名等			
牛窓中学校	24人(12人)	岡山大学教育学部附属中学校	1人(1人)
邑久中学校	55人(36人)	邑久高等学校	41人(7人)
長船中学校	21人(19人)	その他	(4人)
合計: 5校	参加人数:142人	(合計:8校	参加人数:79人)

■受入団体・施設

種別	名称
高齢者・障害者施設	特別養護老人ホームせとうち、グループホーム星の家、地域生活支援センタースマイル、にじいろスクエアせとうち
幼稚園・児童施設	あいあい保育園、牛窓ルンビニ保育園、ゆめクラブ、今城っ子クラブ、長船ちとせこども園
その他	瀬戸内市中央公民館、瀬戸内市民図書館、長船町公民館、瀬戸内市長船スポーツ公園、長船夏祭り実行委員会、仲崎邸、おはなしサークルちまち・とんどん
合計:16カ所	

②アフター夏ボラ **新規**

夏のボランティア体験に参加した中・高校生を中心に、その後のボランティア活動の場や地域とつながる機会を提供した。

開催日	内容	参加者数
9月16日(金)	清掃ボランティア	9名

5)福祉協力校活動普及事業

市内の各園・学校において、園児・生徒が様々な体験を通して福祉の心を育むことができるよう支援した。

① 福祉協力校活動の支援

■福祉協力校連絡会議

開催日	内 容	参加者数
5月18日(水)	令和3年度福祉協力校活動報告、 令和4年度福祉協力校活動予定について	24名

■助成金額(こども園・保育園・幼稚園:各2万円、小・中・高等学校:各3万円)

牛窓町	・保育園:ルンビニ・あいあい (2カ所) ・幼稚園:牛窓東 (1カ所) ・小学校:牛窓東・牛窓西・牛窓北 (3カ所) ・中学校:牛窓 (1カ所)
邑久町	・こども園:今城・裳掛 (2カ所) ・保育園:邑久・福田 (2カ所) ・幼稚園:邑久 (1カ所) ・小学校:邑久・今城・裳掛 (3カ所) ・中学校:邑久 (1カ所) ・高等学校:邑久 (1カ所)
長船町	・こども園:長船ちとせ (1カ所) ・保育園:長船東・長船西 (2カ所) ・幼稚園:国府・行幸 (2カ所) ・小学校:美和・国府・行幸 (3カ所)

② 出前福祉講座

開催日	学校名	内 容	
7月6日(水)	行幸小学校	視覚障がい者体験	職員による出前講座
9月30日(金)	今城小学校	車いす体験、 高齢者疑似体験	職員による出前講座
10月3日(月)	邑久高校	車いす体験	職員による出前講座
10月5日(水)	邑久高校	車いす体験	職員による出前講座
2月7日(火)	牛窓北小学校	車いす体験・白杖体験	職員による出前講座
2月9日(木)	牛窓西小学校	車いす体験・白杖体験	職員による出前講座

③ 福祉講演会の開催 新規

開催日	学校名	内 容
11月 8日(火)	美和小学校	東京パラリンピック開会式に出演した盲目のギタリスト田川 ヒロアキ氏を招いて学校等で講演会を開催。
11月 9日(水)	牛窓中学校	

6)災害時のボランティア支援

災害時におけるボランティア受入体制や支援ネットワークの構築が円滑に図れることを目的に、災害ボランティアセンター設置・運営訓練を行った。

① 災害ボランティアセンター設置・運営訓練

昨年に引き続き、昨今の異常気象による災害や地震など突発的に発生する災害に備え、本会でも職員や市民が協力し、設置運営ができるよう訓練を実施した。

開催日	10月22日(土)	会場	瀬戸内市総合福祉センター
講師	山下 弘彦 氏(日野ボランティア・ネットワーク)		
概要	昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症を考慮し、参加者を限定して行う(行政職員・地区社協関係者・西大寺青年会議所・市内社会福祉法人)。災害ボランティアセンターの基本的なことを講義形式で学び、その後屋外で模擬によるセンター運営訓練を実施した。		
参加者数	本会職員、市関係部署の職員、地区社協、西大寺青年会議所、市内社会福祉法人職員 69名(定員70名)		

4.福祉まるごと相談体制の推進

1)高齢者の相談業務等 ※市からの受託事業(地域包括支援センター)

高齢者及び家族が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活ができるだけ継続していくことができるようにするため、どのような支援が必要かを把握し、地域における各種社会資源へのつなぎや適切なサービス・制度の利用支援、関係機関との連絡調整等を行った。

① 実態把握／総合相談業務

≪総合相談対応件数 ※延件数≫

※ブランチ事業所の活動実績を含む

	合計件数	内 訳			
		来所	電話	訪問	その他
4月	740	22	487	143	88
5月	710	35	487	129	59
6月	801	54	556	127	64
7月	726	41	493	121	71
8月	761	35	545	126	55
9月	820	39	540	148	93
10月	824	56	520	146	102
11月	822	39	569	138	76
12月	852	57	582	137	76
1月	874	45	597	135	97
2月	927	45	639	147	96
3月	1,034	65	727	156	86
合計	9,891	533	6,742	1,653	963

≪相談内容別対応件数 ※延件数≫

※内容重複有

介護相談	福祉相談	介護予防	認知症	健康相談	虐待・権利擁護	その他
2,656	481	2,232	1,567	1,618	569	1,452

② 権利擁護支援

さまざまな場面において、権利侵害を受けている、又は受ける可能性が高いと考えられる高齢者が、地域で安心して尊厳ある生活を行うことができるよう、予防や対応を専門的に行った。

《内容別対応件数 ※延件数》

成年後見制度 活用の促進	日常生活自立支援 事業の利用支援	老人福祉施設 等措置支援	高齢者虐待 への対応	介護保険による 契約入所等の支援	消費者被 害防止	その他の 支援
75	11	4	180	6	3	8

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、個々の高齢者の状況や変化に応じた包括的・継続的なケアマネジメントが提供できるよう、地域の基盤を整えとともに個々の介護支援専門員等へのサポートを行った。

《介護支援専門員等に対する個別相談支援件数 ※延件数》 735件

④ 介護予防ケアマネジメント事業

介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い、従来の要支援認定の枠にとらわれず、日常生活に支援の必要な高齢者の心身の状況や環境等に応じて、自立した生活を送ることができるよう総合的に支援した。

《地域ケア個別会議実施状況》

開催日	内容等
4月14日(木)・21日(木)	【検討ケース】 利用者が住み慣れた地域で自立した日常生活を送るために、必要な介護保険サービスやボランティア等の社会資源の導入の妥当性について、ケアプラン原案を基に検討しました。 ◇主に以下のケースについて検討 ・従前の予防給付相当のデイサービス(利用条件あり)の新規利用の必要性 ・自立支援に向けたケース検討・課題整理 【会議構成員】 いきいき長寿課・健康づくり推進課管理栄養士・瀬戸内市民病院理学療法士・岡山県薬剤師会瀬戸内支部 薬剤師・地域包括(ケアマネ・3職種・生活支援コーディネーター) ※ケースにより、健康づくり推進課保健師
5月12日(木)・19日(木)	
6月16日(木)・23日(木)	
7月14日(木)・21日(木)	
8月18日(木)	
9月15日(木)・22日(木)	
10月13日(木)・20日(木)	
11月10日(木)・17日(木)	
12月15日(木)・22日(木)	
1月12日(木)・19日(木)	
2月9日(木)・16日(木)	
3月16日(木)・23日(木)	

《指定介護予防支援・介護予防ケアマネジメントの実施状況》 ※()内委託分

	プラン作成合計件数	予防給付を含む利用の件数	※総合事業のみ利用の件数
4月	369(94)	322(81)	47(13)
5月	370(93)	325(80)	45(13)
6月	379(100)	332(86)	47(14)
7月	377(103)	331(89)	46(14)
8月	377(101)	332(88)	45(13)
9月	378(108)	335(96)	43(12)
10月	382(114)	343(102)	39(12)
11月	380(110)	342(99)	38(11)
12月	384(114)	345(103)	39(11)
1月	377(109)	342(101)	35(8)
2月	377(112)	341(103)	36(9)
3月	382(113)	346(103)	36(10)
合計	4,532(1,271)	4,036(1,131)	496(140)

※ 当該月のサービス利用が総合事業(デイ・ヘルパー)のみであった場合の件数
 例)デイと福祉用具レンタルの場合は従来どおり予防給付での介護予防支援になる

2)主に高齢期を迎える障害者の相談業務

障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障がい者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、障がい者の選択に基づき適切な障害福祉サービス等が、多様な事業所から総合的かつ効率的に提供されるよう支援した。

① 指定特定相談支援事業

≪指定特定相談支援の実施状況≫

	新規担当件数	継続担当件数	合計担当件数
4月	0件	7件	7件
5月	0件	7件	7件
6月	0件	7件	7件
7月	0件	7件	7件
8月	1件	7件	8件
9月	0件	8件	8件
10月	0件	8件	8件
11月	0件	7件	7件
12月	0件	7件	7件
1月	0件	7件	7件
2月	0件	7件	7件
3月	0件	7件	7件

3)権利擁護に関する相談業務等 ※市からの受託事業(権利擁護センター)

必要とする市民を迅速・適切な権利擁護支援に繋げるため、行政はもちろん、医療・保健・福祉・法律等の様々な専門職とのネットワークのもと相談・支援体制構築により対応した。

① 支援検討委員会の開催

	開催日	内 容
第1回	4月27日(水)	新規3件 ・身寄りのない入院中の高齢者の成年後見制度申立支援(市長申立)及び受任調整(2件) ・在宅で生活する独居高齢者の受任調整
第2回	6月22日(水)	継続6件 ・今まで受任調整した方の経過報告
第3回	7月27日(水)	新規1件 ・支援者と関係の継続が難しい虐待の疑いがある世帯の支援
第4回	8月24日(水)	継続1件 ・生活に困窮している困り感のない障がいのある親子への支援
第5回	9月28日(水)	新規1件 ・親族と疎遠な認知症高齢者の成年後見制度申立て支援(市長申立)及び受任調整
第6回	10月26日(水)	新規1件 ・長男からお金を無心され束縛を受けていた母親の支援
第7回	11月30日(水)	継続2件 ・夫からの長年に渡る暴力から避難した妻への支援 ・長男からお金を無心され束縛を受けていた母親の支援
第8回	12月28日(水)	社協法人後見事業の現状と課題について
第9回	1月25日(水)	新規1件 ・市外障害者グループホームに入居している障害者への成年後見制度申立て支援(市長申立)及び受任調整
第10回	2月22日(水)	継続1件 ・市外障害者グループホームに入居している障害者への成年後見制度申立て支援(市長申立)及び受任調整 新規1件 ・市外から養護老人ホームへ転居された方の受任調整

② 高齢者・障がい者生活なんでも相談会(くらしの困りごと相談会)

※ 令和4年度は第1回目の相談会を10月29日(土)、第2回目を2月25日(土)に実施した。

③ 権利擁護に関するワンストップ相談窓口業務

《受付件数・支援回数》

	新規件数(実数)	継続件数(実数)	支援回数
4月	11	14	185
5月	8	17	230
6月	4	13	276
7月	8	14	205
8月	6	16	153
9月	6	11	278
10月	6	17	210
11月	6	11	186
12月	2	18	210
1月	4	15	146
2月	6	17	116
3月	4	16	172
合計	71	180	2367

《相談内容・回数》

	虐待	DV	成年後見制度	介護問題	金銭問題	入院・入所問題	消費者被害	その他	月合計
4月	64	6	102	0	12	0	0	1	185
5月	91	4	74	1	21	31	4	4	230
6月	149	0	49	0	26	52	0	0	276
7月	86	0	64	7	17	27	0	4	205
8月	78	0	42	0	28	5	0	0	153
9月	226	0	32	0	19	1	0	0	278
10月	100	22	29	0	5	1	0	53	210
11月	73	0	49	7	26	0	0	31	186
12月	87	0	41	0	18	1	0	63	210
1月	37	10	73	0	26	0	0	0	146
2月	17	0	48	9	20	1	0	21	116
3月	80	0	67	0	18	7	0	0	172
合計	1088	42	670	24	236	126	4	177	2367

※継続件数の合計件数は相談対象者の重複あり。

《支援内容・回数》

	訪問	電話	来所	メール	ケース会議	経過報告	経過報告付随相談	所内会議	AD相談	その他	月合計
4月	4	42	14	0	9	88	11	3	14	0	185
5月	8	47	9	4	6	102	35	2	11	6	230
6月	23	46	20	3	8	115	49	3	3	6	276
7月	7	35	16	1	3	68	58	2	12	3	205
8月	11	28	15	1	6	51	32	6	2	1	153
9月	23	64	13	1	14	86	52	10	15	0	278
10月	7	60	34	0	7	60	33	1	1	7	210
11月	11	41	28	0	2	77	24	1	2	0	186
12月	10	52	29	0	10	68	34	3	0	4	210
1月	10	21	15	0	4	60	30	4	1	1	146
2月	10	23	13	0	5	42	16	1	3	3	116
3月	9	27	13	0	11	65	27	10	2	8	172
合計	133	486	219	10	85	882	401	46	66	39	2367

④ 虐待対応実績

相談件数	直接的対応 (訪問・電話・来所等)	間接的対応 (連絡調整・会議等)	終結件数
41(内 23 件前年度継続)	409	788	22

⑤ 成年後見制度利用支援実績

相談件数	直接的対応 (訪問・電話・来所等)	間接的対応 (連絡調整・会議等)	申立件数
54(内 13 件前年度継続)	121	557	4

※ 終結件数 33件(内 6 件 前年度継続)27

⑥ 岡山大学大学院法務研究科 弁護士研修センター所属弁護士への相談

【相談日時】 毎月第二・第四火曜日 13:00～ ※1～2 時間

【場 所】 瀬戸内市総合福祉センター

【内 容】 瀬戸内市と岡山大学大学院法務研究科との連携協定に基づく弁護士派遣相談

【担当弁護士】 吉野法律事務所 吉野弁護士・オリーブ法律事務所 古謝弁護士 ※交替制

【相談件数及び内容】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
成年後見制度	2	2	4	4	4	1	4	2	2	2	3	2	32
虐待・DV 相談 への支援	0	1	0	1	0	0	1	0	1	3	0	1	8
金銭問題 (債務整理・財産 管理含む)	0	0	1	2	2	0	0	0	1	1	1	0	8
不動産問題	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	4
相続問題	3	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3	1	9
契約問題	0	0	0	1	0	0	1	1	2	0	0	0	5
住居確保 (一時避難含む)	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
死後事務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
その他	1	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	5
合 計	6	6	6	9	6	6	7	3	7	8	7	5	76

4)生活困窮に関する相談業務等 ※市からの受託事業(生活相談支援センター)

様々な困難の中で生活に困窮している市民からの相談に応じ、必要な情報提供や各関係機関と連携を図りながら、包括的支援を行った。

① 相談事業実績

≪相談実績(実数)≫

※自立支援計画(プラン)作成件数は、再プラン件数を含む

	新規相談受付 件数	自立支援計画(プラン)作成件数	
		自立相談支援事業による就労支援	家計改善支援事業
4月	5	—	2
5月	8	—	—
6月	4	—	1
7月	7	—	—
8月	9	—	2
9月	13	—	—
10月	5	—	—
11月	11	2	1
12月	3	—	2
1月	1	—	—
2月	2	1	1
3月	9	—	—
計	77	2	9

《相談内容(延数)》

相談内容別 件数	収入・生活費	税金・公共料金の支払い	家賃・ローンの支払い
	291件	116件	95件
	生活福祉資金	債務について	病気・障がい
	112件	115件	139件
	仕事探し・就職	仕事上の不安やトラブル	子育てについて
	97件	85件	14件
	家族関係	DV・虐待	介護
	80件	1件	11件
	ひきこもり・不登校	地域との関係	食べる物がない
46件	8件	57件	
住まい	その他		
30件	23件		

計 1,320 件

《支援内容(延数)》

支援内容別 件数	来所	電話	訪問・同行支援	所内会議
	421件	745件	280件	179件
	支援調整会議 (プラン策定・評価)	他機関との会議 (支援調整会議除く)	他機関への 電話照会・協議	その他
17件	71件	548件	293件	

計 2,554 件

② 支援調整会議の開催

支援調整会議は、相談者に対する自立支援計画(プラン)の適切性の協議、支援決定、終結時の評価、各支援機関による情報共有等を目的に開催。

	開催日	内容
第1回	4月28日(木)	・家計改善支援事業の決定 2件
第2回	6月20日(月)	・家計改善支援事業の決定 1件
第3回	8月25日(木)	・家計改善支援事業の決定 2件 ・ // の終結 2件
第4回	11月15日(火)	・家計改善支援事業の決定 2件 ・自立相談支援事業による就労支援の決定 1件 ・自立相談支援事業による就労支援の終結 2件
第5回	12月27日(火)	・家計改善支援事業の決定 2件
第6回	2月21日(火)	・家計改善支援事業の決定 1件 ・自立相談支援事業による就労支援の決定 1件

5) ひきこもりに関する相談業務等 ※市からの受託事業(ひきこもりサポートセンター)

公認心理師・保健師等の専門職を配置して相談窓口を設置するとともに、居場所づくり・ネットワークづくりと一体的に相談支援に取り組んだ。

① ひきこもりに関する相談業務

《月別相談状況(実数)》

	新規件数	継続件数	終結件数	合計件数
4月	3	39	0	42
5月	1	42	0	43
6月	2	43	0	45
7月	6	45	1	50

8月	0	50	1	49
9月	0	49	1	48
10月	1	48	0	49
11月	1	49	0	50
12月	0	50	0	50
1月	0	50	0	50
2月	3	50	0	53
3月	0	53	1	52

※ 終結は高齢者(1名、就労希望の為、他機関紹介)と他市に転居したケース(2名)。

《性別および年齢別(実数、終結含む)》

年齢別	男性	女性	合計
14～19歳	8	3	11
20～29歳	5	3	8
30～39歳	7	3	10
40～49歳	10	3	13
50～59歳	11	1	12
60～64歳	0	1	1
65歳以上	0	1	1
合計	41	15	56

《相談者別(実数、終結含む)》

相談者別	人数
本人のみ	18
本人と家族	16
家族のみ	18
支援機関	4
合計	56

《支援内容(延数)》

	来所相談	訪問	電話	メール	他機関との会議	他機関との電話照会・協議	所内会議
4月	17	10	6	0	2	0	0
5月	13	10	5	0	2	1	0
6月	12	11	16	4	3	2	9
7月	16	7	13	15	3	0	1
8月	17	8	9	11	2	4	4
9月	11	8	9	5	5	8	1
10月	13	9	7	4	1	5	0
11月	17	12	8	3	1	1	1
12月	11	9	16	3	2	1	1
1月	7	23	11	5	1	10	1
2月	20	14	21	12	4	7	2
3月	14	31	12	9	4	2	3
合計	168	152	133	71	30	41	23

6)日常生活自立支援事業 ※県社協からの受託事業

認知症高齢者・知的・精神障がい者等で判断能力が不十分な方に対して、福祉サービスの利用援助や日常生活に金銭管理を行って支援した。

■現在の利用件数

	牛窓	邑久	長船	合計
利用者	3	9	2	14
支援員	1	4	2	7*

※重複あり(支援員が複数の利用者を担当している場合があるため)

7)法人後見事業

成年後見人等に就任し、養成した市民後見人と協力して認知症高齢者や知的・精神障がい者等の財産管理・身上保護の業務を行った。

■受任状況

	牛窓	邑久	長船	その他	合計
受任件数	1(5)	1(1)	2(3)	0(1)	4(10)

※()内の数字は前年度までの受任件数と合せた合計件数

※ 令和5年3月末時点の受任件数は 10 件

8)生活福祉資金貸付事業 ※県社協からの受託事業

低所得世帯・障がい者世帯等に対する資金貸付事業の相談窓口業務、申込書の受付、償還指導等を行った。また、新型コロナウイルスによる収入減少や失業した世帯に対して特例貸付の相談窓口業務、申込書の受付等を行った。

■通例(本則)の貸付件数

		牛窓	邑久	長船	市外	合計
新規借入者	生活福祉資金(小口含む)	0	0	0	—	0
	総合支援資金	0	0	0	—	
償還期間中	生活福祉資金(小口含む)	0	2	0	2	5
	総合支援資金	0	1	0	0	
合計		0	3	0	2	5

■新型コロナウイルスによる特例貸付件数 (申請受付件数)

		合計
新規借入者	緊急小口資金	34
	総合支援資金	25
合計		59

※令和4年9月30日に申請受付終了。令和2年3月25日からの総貸付数は944件・354世帯。

9)緊急援護資金貸付事業

生計の維持が一時的に困難で窮迫した状況にある生活困窮者に対し、本資金を貸し付け、その世帯の福祉の増進及び自立の促進を図ることを目的として実施した。

	牛窓	邑久	長船	合計
新規借入者	1	3	6	10
償還中	1	0	1	2

5. 支え手の育成・ネットワークづくり

— 支え手の育成 —

1) 生活支援サポーターの活動支援

地域での助け合い活動を基本とするサポーターの派遣調整を行うとともに、サポーター活動の不安解消や調整を待つサポーターのモチベーション維持のため、交流会を開催した。

① 生活支援サポーター派遣調整

支援内容	支援調整件数	延べ支援件数
話し相手・見守り	3	14

② 生活支援応援者交流会

開催日	内容
10月25日(火)	生活支援サポーターと同じく生活支援活動に取り組んでいる「おかやまコープ」「シルバー人材センター」の会員と情報交換。防災をテーマに交流。

2) 認知症施策等における支え手の育成 ※市からの受託事業(地域包括支援センター)

認知症の正しい理解の促進と対応方法についての啓発を行うとともに、地域の介護予防活動を推進していただく支え手を育成した。

① 認知症サポーター養成講座

開催日	団体名等	人数
5月11日(水)	松陽団地はつらつ教室	22人
6月8日(水)	邑久高校生活ビジネス学科	28人
6月8日(水)	愛生園附属看護学校	3人
6月13日(月)	牛窓東小学校 4年生	14人
7月7日(木)	牛窓中学校 3年生	36人
7月17日(日)	今城地区小地域ケア会議	23人
7月24日(日)	国府地区社協	16人
8月23日(火)	サカ工業局	6人
9月11日(日)	一般市民向け 図書館	15人
10月13日(木)	福山ふれあいサロン	10人
10月21日(金)	笠加地区小地域ケア会議	18人
12月10日(土)	豊原地区小地域ケア会議	14人
1月13日(金)	長船げんき会	8人

※ 認知症サポーター数 213人(R5年度3月まで) 4,032人(延人数)

② 認知症サポーターステップアップ講座(認知症マイスター検定) 9名参加

開催日	内容
11月29日(火)	3級 傾聴について学ぼう 講師:傾聴ボランティアとよあけ 小菅もと子氏
1月17日(火)	2級 考えよう! あったらしいな♪こんな活動 講師:郡さくらんぼ会 森いく子氏
3月14日(火)	1級 検定試験・目標発表

③ 認知症キャラバンメイト連絡会

開催日	内容
12月16日(金)	・キャラバン・メイト交流 ・瀬戸内市認知症事業紹介 ・ケアパス紹介

※ キャラバンメイト登録者数 (R4年度+3名 計57人)

④ 介護予防リーダー養成研修等

月日	内容	参加人数
6月17日(金)～ 8月5日(金)	第8期 介護予防リーダー養成研修(8回シリーズ) (研修期間中に市内のOB会に実習へ行く)	11人
9月16日(金)、 1月20日(金)	アフター研修 (上記研修後のフォローとして開催)	

※受講者11名中10名が介護予防リーダーとなった。

月日	内容	備考
11月11日(金)～ 11月25日(金)	ゴムプロ講座(3回シリーズ)	6人

⑤ 介護予防リーダー定例会

介護予防リーダーが困った時に助け合える仲間づくり(組織化)を推進することを目的に、年5～6回開催した。また、介護予防リーダーの意見を反映するために、企画会議(リーダーさんの声を聞く会)も開催した。

月日	内容	参加人数
4月21日(木)	介護予防リーダー派遣調整会議 (介護予防リーダーがOB会へ派遣する日時を調整)	23人
6月7日(火)	第1回 リーダーさんの声を聞く会 (役割分担決め、アイスブレイクの内容等について)	3人
6月28日(火)	第1回 リーダーさんの会 (アイスブレイク、ミニ講話、情報交換)	22人
8月3日(水)	第2回 リーダーさんの声を聞く会 (24日の開催について、次回の内容について)	7人
8月24日(水)	第2回 リーダーさんの会 ※新型コロナウイルス感染拡大のため、中止	—
10月6日(木)	第3回 リーダーさんの声を聞く会 (役割分担決め、アイスブレイク、組織化について)	5人
10月27日(木)	第3回 リーダーさんの会 (アイスブレイク、棒体操、組織化について)	23人
12月2日(金)	第4回 リーダーさんの声を聞く会 (組織化の役員決め、役割分担決めについて)	7人
12月16日(金)	第4回 リーダーさんの会 (アイスブレイク、レクリエーション、役員について)	22人
2月1日(水)	第5回 リーダーさんの声を聞く会 (役割分担決め、来年度の計画について)	6人
2月22日(水)	第5回 リーダーさんの会 (アイスブレイク、活動紹介、情報交換について)	14人

3) 権利擁護における支え手の育成 ※市からの受託事業(権利擁護センター)

福祉サービス事業所向けの虐待防止・成年後見制度等に関する研修を開催し、権利擁護に関心をもつ人材を増やすとともに、市民の立場で後見人業務を担っていただく支え手を育成し、地域における後見活動を推進した。

① 障がい者権利擁護研修会の開催

開催日	内 容
1月30日(月)	障がい事業所向けに虐待防止や虐待の早期発見に関する内容

② 市民後見人養成事業

開催日	内 容	備 考
8月4日(木)	市民後見人事前説明会	7人参加
8月24日(水) 9月7日(水)	選考会(書類審査・面接)	6人選考・6人受講決定 1人辞退
10月10日(月)~ 12月11日(日)	岡山県主催研修	7日間 5人出席
1月20日(金)	瀬戸内市主催研修 1日目	見学実習・5人出席
2月3日(金) 2月9日(木)	瀬戸内市主催研修 2日目	面接同席・4人出席 欠席者1人は補講
2月15日(水)	瀬戸内市主催研修 3日目	講義実習/修了式・5人出席
2月22日(水) 3月1日(水)	意向確認面接	5人が出席
3月22日(水)	バンク登録適任者として推薦決定	5人を瀬戸内市へ推薦

③ 市民後見人バンク登録者へのフォローアップ研修

	開催日	内 容	備 考
第1回	5月17日(火)	令和4年度フォローアップ研修について	11人出席
第2回	7月19日(火)	事例検討:後見支援員が担当する被保佐人の対応について	10人出席
第3回	10月11日(火)	講義「意思決定支援と相談の受け止め方について」 講師:権利擁護アドバイザー新名雅樹社会福祉士	10人出席
第4回	11月8日(火)	他市町村の市民後見人との意見交換会 (和気町、備前市、赤磐市)活動報告及び意見交換	10人出席
第5回	11月29日(火)	岡山弁護士会主催研修(オンライン) 「岡山版意思決定支援ガイドライン研修」 ダベリング(市民後見人同士の情報交換)	5人出席

④ 市民後見人普及セミナー

開催日	内 容
3月17日(金)	第1部「もっと身近に！成年後見制度」 講師:一般社団法人くろがね林田哲弥精神保健福祉士 第2部「市民後見人の活動報告」 市民後見人2人からの報告

4) ひきこもりの理解促進と支え手の育成 ※市からの受託事業(ひきこもりサポートセンター)

昨今の社会情勢やひきこもり状態にある方及びその家族の支援の必要性を啓発するとともに市民の立場でサポートにご協力いただける支え手を育成した。

① ひきこもりサポーター養成講座

	開催日	内 容	参加者数
第1回	8月9日(火)	サポーター養成講座① 「ひきこもりの理解とボランティア活動の心構え」 講師：ノートルダム清心女子大学 准教授 中井 俊雄 氏	8人
第2回	8月18日(木)	サポーター養成講座② 「ご本人と関わる上で大切にしたいこと」 講師：トータルサポートセンター 主任相談支援専門員 黒田 信介 氏	7人
第3回	8月23日(火)	サポーター養成講座③ 「居場所支援の実際と瀬戸内市の現状」 講師：KHJ 岡山きびの会 共同代表 浅山 広大 氏 瀬戸内市ひきこもりサポートセンター ひなた	7人
第4回	8月30日(火)	サポーター養成講座④ 「私たちができる活動、居場所づくり」 講師：ノートルダム清心女子大学 准教授 中井 俊雄 氏	7人

※ サポーター登録者数 7人

② ひきこもりに関する市民講座

開催日	主 な 内 容	参加者数
11月19日(土)	【講演】「誰も孤立しない社会を目指して ～安心してひきこまれる地域づくり～」 講師：NPO 法人抱僕理事長・東八幡キリスト教牧師 奥田 知志 氏	131人

—ネットワークづくり—

5) 高齢者支援のネットワークづくり ※市からの受託事業(地域包括支援センター)

認知症が疑われる方の初期支援を複数で包括的・集中的に行うチームに参画するとともに、認知症が疑われる方と出会った市民が適切な対応を行なえるような地域づくりを推進した。

- ① 認知症初期集中支援チーム員会議への出席(トータルサポートセンター主催・月1回開催・2人出席)
今年度も、チーム員研修を受講した2人の職員が事業に携わっている。
- ② 認知症高齢者徘徊模擬訓練

開催日	内容・実施地域	人 数
8月30日(火)	小向サロン『あったか声かけ訓練』	15人
11月11日(金)	牛窓老人クラブ『おひとり歩きを見かけたら』	116人
2月3日(金)	豊原小地域ケア会議『あったか声かけ訓練』	15人

6) 権利擁護支援のネットワークづくり ※市からの受託事業(権利擁護センター)

福祉専門職や司法専門職、市民後見人等を対象に、権利擁護に関する情報共有、ネットワーク構築、支援や資質の向上を図るために権利擁護事例研究会を開催した。

- ① 権利擁護センター運営委員会

	開催日	内 容
第1回	5月25日(水)	前年度の事業報告、中核機関としての事業説明
第2回	3月22日(水)	次年度の事業計画・予算案、権利擁護センター課題 他

② 権利擁護事例研究会

	開催日	内 容
第1回	4月6日(水)	本年度の研究会実施等に係る関係者打ち合わせ
第2回	5月11日(水)	事例検討:認知症の独居高齢者への支援
第3回	6月1日(水)	ミニ講義:成年後見制度について (権利擁護アドバイザー大本弁護士)
第4回	7月6日(水)	事例検討:ひきこもりの方の家族への支援
第5回	8月3日(水)	ミニ講義:終活について (権利擁護アドバイザー守田司法書士)
第6回	9月7日(水)	事例検討:経済的に課題のある精神障がい者への支援
第7回	10月5日(水)	ミニ講義:後見人として高齢者と障がい者に対する支援の違いについて (権利擁護アドバイザー新名社会福祉士)
第8回	11月2日(水)	事例検討:自身で相談先を拡げる障がい者への支援
第9回	12月7日(水)	ミニ講義:大人の発達障害について (ひきこもりサポートセンターひなた 黒川心理士)
第10回	1月11日(水)	事例検討:児童に関する事例
第11回	2月1日(水)	ミニ講義:財産を守りつなぐ方法~家族信託について~ (行政書士櫻田事務所 櫻田行政書士)
第12回	3月1日(水)	事例検討:高齢者に関する事例

7)生活困窮者支援のネットワークづくり ※市からの受託事業(生活相談支援センター)

関係機関及び関係者のネットワークを構築し、事業に関する情報共有、地域における支援体制の検討を行い、生活困窮者に対する包括的な支援を効果的に実施することを目的に生活困窮者自立支援ネットワーク会議を開催した。

① 生活困窮者自立支援ネットワーク会議

	開催日	内 容	出席委員等
第1回	6月21日(火)	【生活相談支援センター】 ・令和3年度事業報告について ・令和4年度事業計画について ・意見交換 【ひきこもりサポートセンターひなた】 ・令和3年度事業報告について ・令和4年度事業計画について ・意見交換	ネットワーク会議委員 12人 アドバイザー 2人 オブザーバー 2人 事務局 4人 計 20人
第2回	1月24日(火)	・フードバンク事業について ・依存傾向がみられる方の支援 について ・居場所等への移動支援について ・意見交換	ネットワーク会議委員 13人 アドバイザー 2人 オブザーバー 2人 事務局 4人 計 21人

8)ひきこもり支援のネットワークづくり ※市からの受託事業(ひきこもりサポートセンター)

ひきこもり支援の推進に関し、必要かつ具体的な活動等を実際に不登校・ひきこもり支援に携わる関係機関の実務者で検討すること、また顔の見える関係づくりを行うことを目的にひきこもりサポート会議を開催した。

また、義務教育後の支援を見据え、学校・教育委員会との連携や不登校対策会議、ケース会議に参加した。

① ひきこもりサポート会議

開催日	内容	参加機関
10月24日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートセンターの活動について(報告) ・支援実態調査について(趣旨説明、意見交換) 	地域生活支援センタースマイル、せとうち旭川荘、教育委員会総務学務課、適応指導教室「のぞみ」、こども・健康部子育て支援課、こども・健康部健康づくり推進課、福祉部トータルサポートセンター、福祉部いきいき長寿課、福祉部福祉課、地域包括支援センター、権利擁護センター、生活相談支援センター

② 学校・教育委員会との連携

学校	開催日	内容	検討ケース数
牛窓中学校	4月13日(水)	校長先生との協議	1
	4月28日(木)	SSWとの協議	1
	8月4日(木)	牛窓中学校不登校連絡会	7
	3月13日(月)	牛窓中学校不登校連絡会	6
邑久中学校	6月23日(木)	第2回不登校対策委員会	17
	8月22日(月)	邑久中学校不登校連絡会	20
	9月15日(木)	第3回不登校対策委員会	31
	3月20日(月)	邑久中学校不登校連絡会	7
	3月16日(木)	第6回不登校対策委員会	26
長船中学校	5月26日(木)	第1回不登校対策会議	5
	7月14日(木)	第2回不登校対策会議	5
	8月26日(金)	長船中学校不登校連絡会	4
	9月15日(木)	第3回不登校対策会議	2
	11月10日(木)	第4回不登校対策会議	2
	3月6日(月)	ケース会議	1
	3月14日(火)	長船中学校不登校連絡会	4

6.新たな福祉課題への取り組み

1) ささえ愛ネットせとうち(瀬戸内市社会福祉法人等地域貢献活動推進協議会)

市内の社会福祉法人と一緒に、「地域支援」「個別支援」の視点で、福祉ニーズに応じた柔軟な支援や新たな取り組みについて協議・検討を行うとともに、生活困窮者等への食糧支援の充実を図った。

■会議の実施状況

開催日	内容
5月24日(火)	総会(令和3年度事業・決算報告 他)
8月27日(金)	地域サポート事業部会(備品貸出事業の実施状況 他)
9月6日(火)	くらしサポート事業部会(フードドライブ・しごと応援・居場所づくり事業 他)
9月8日(木)	地域サポート事業部会(備品貸出・災ボラ設置運営訓練について 他)
9月28日(水)	役員会(部会報告 他)
12月23日(金)	役員会(災ボラ設置運営訓練、市民講座について市町村ネットワーク部会報告 他)
2月28日(火)	くらしサポート事業部会(フードドライブ・しごと応援・居場所づくり事業 他)
3月6日(月)	地域サポート事業部会(備品貸出・災ボラ設置運営訓練について・チラシ作成 他)
3月24日(金)	役員会(部会報告・令和5年度事業計画・予算 他)

■フードドライブ事業の実績(くらしサポート部会)

募集月	協利法人数	寄付食糧個数
5月	1法人	671品
6月	2法人	
8月	2法人	
10月	3法人	
12月	2法人	
2月	3法人	
合計	13法人	

2)内職・軽作業支援の充実 ※市からの受託事業(ひきこもりサポートセンター)

内職事業者とひきこもり状態にある方の間にセンターが入って調整することで、社会参加を促進するとともに、新たな協力企業の開拓を行った。

《月別支援状況》

	新規件数(実数)	継続件数(実数)	支援回数(延数)
4月	0	8	60
5月	2	8	52
6月	1	10	64
7月	0	11	63
8月	2	10	60
9月	0	11	55
10月	0	11	44
11月	0	11	49
12月	0	11	41
1月	0	11	50
2月	0	11	47
3月	0	11	57

3)子ども用品無料交換会 ※市からの受託事業

子育て世帯の交流や支援に繋がる「子ども用品無料交換会」を関係団体の協力を得て開催し、若い世代の共助を推進した。

内 容:子ども用品の交換(持ってくるだけ・貰うだけでも可)

- ・子ども服、靴、帽子全般
- ・未開封のオムツ
- ・市内の保育園、こども園、幼稚園、小・中学校の制服
- ・未使用の文房具

参加者: 第1回 7月23日(土) 137組(359人) ※会場に来た人数
 第2回12月 4日(日) 193組(514人) //

4)空き家を活用した新たな拠点づくり

空き家(名称:「みらいえ」)を活用し、新たな空間創出に取り組んだ。市民の「参加支援」を後押しするため、集う人達の興味や関心を基に、横に繋がる豊かな関係性づくりを行うと共に、新たな支援メニューの開発に取り組んだ。

	延べ人数	内 容
プロジェクトチーム会議	58人	・毎月開催し、事業の進捗状況の確認、企画案を協議
生活困窮者支援	84人	・毎月1~2回程度開催し、食事や入浴支援を実施 ・ぴあ座談会や料理教室を開催
認知症カフェ	52人	・お餅つきやぞうりづくり、フラワーアレンジメント教室を開催
邑久高校セトリー	47人	・邑久高校生が主体となり、2回の子育て支援企画を実施 ・オンライン研修の受講や学校内で活動について報告

※上記のほかに、視察研修やチラシ・広報誌による周知啓発を実施した。

7.情報収集・伝達と法人運営・財政基盤の強化

1) 広報事業

各部署が口コミやSNS 活用により、社協の“見える化”“見せる化”に努めた。広報誌もデザインを刷新し、より見やすく分かり易い誌面づくりを努める等、各種情報媒体の魅力を高めるように取り組んだ。

① 広報誌の発行・配布

市民の方々に、本会が取り組む様々な地域福祉活動についてより一層理解を深めてもらうため、広報誌「ふくしのわ」を年6回偶数月に発行。

② ホームページ・SNS による情報発信

ホームページ・SNS の活用により、福祉情報のタイムリーな発信に努めた。

2) 法人運営及び福祉センター・社協バス管理

引き続きソーシャルディスタンスの確保、換気、検温、アルコール消毒等により、新型コロナウイルス感染拡大の防止に努めた運営・管理を行った。

① 法人運営

理事会(3回)、評議員会(3回)、評議員選任解任委員会(1回)を開催した。

② 福祉センター運営管理

消毒液やアクリル板の設置、及び使用後の消毒等を徹底し、適切な運営管理に努めた。

③ 社協バス運行管理

定員制限を8～21人(補助席は不可)に緩和して運行した。

	サロン	団体	地区社協	社協事業	市行政	合計
運行回数	11	6	3	4	0	24

3) 社協会員の加入促進と寄付受付

猛暑を避けるため、1ヵ月時期を早めて社協会費の協力を依頼した。チラシをリニューアルし、会費の活用方法を周知するとともに、各種相談窓口についても PR を行った。

① 社協会員会費

実績 (普通)8,566,000 円 (特別)1,055,000 円 合計 9,621,000 円

4) 共同募金運動の推進

全国共同募金会の示す衛生配慮に係るガイドラインに沿って、「まちを良くするしくみ」づくりとそれを支える「見える共同募金」を推進した。

① 瀬戸内市共同募金委員会運営支援事業

10月1日より瀬戸内市共同募金運営委員会の事務局を担い、運営委員を中心に、市内の様々な関係団体の協力を得て実施した。

令和4年度目標額:6,400,000 円

	牛窓町		邑久町		長船町		合計	
	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数
戸別募金	790,720	1,557	2,158,000	4,160	1,380,780	2,899	4,329,500	8,616
法人募金	280,000	59	405,000	71	294,000	81	979,000	211
その他の募金			749,044	134			749,044	134
合計	1,070,720	1,616	3,312,044	4,365	1,674,780	2,980	6,057,544	8,961

赤い羽根☆まちづくり福祉活動助成事業

市内でまちづくりや福祉分野等で活動する7団体から申請があり、審査委員会の審査を行って合計 586,356 円を助成して、まちの活性化に寄与した。